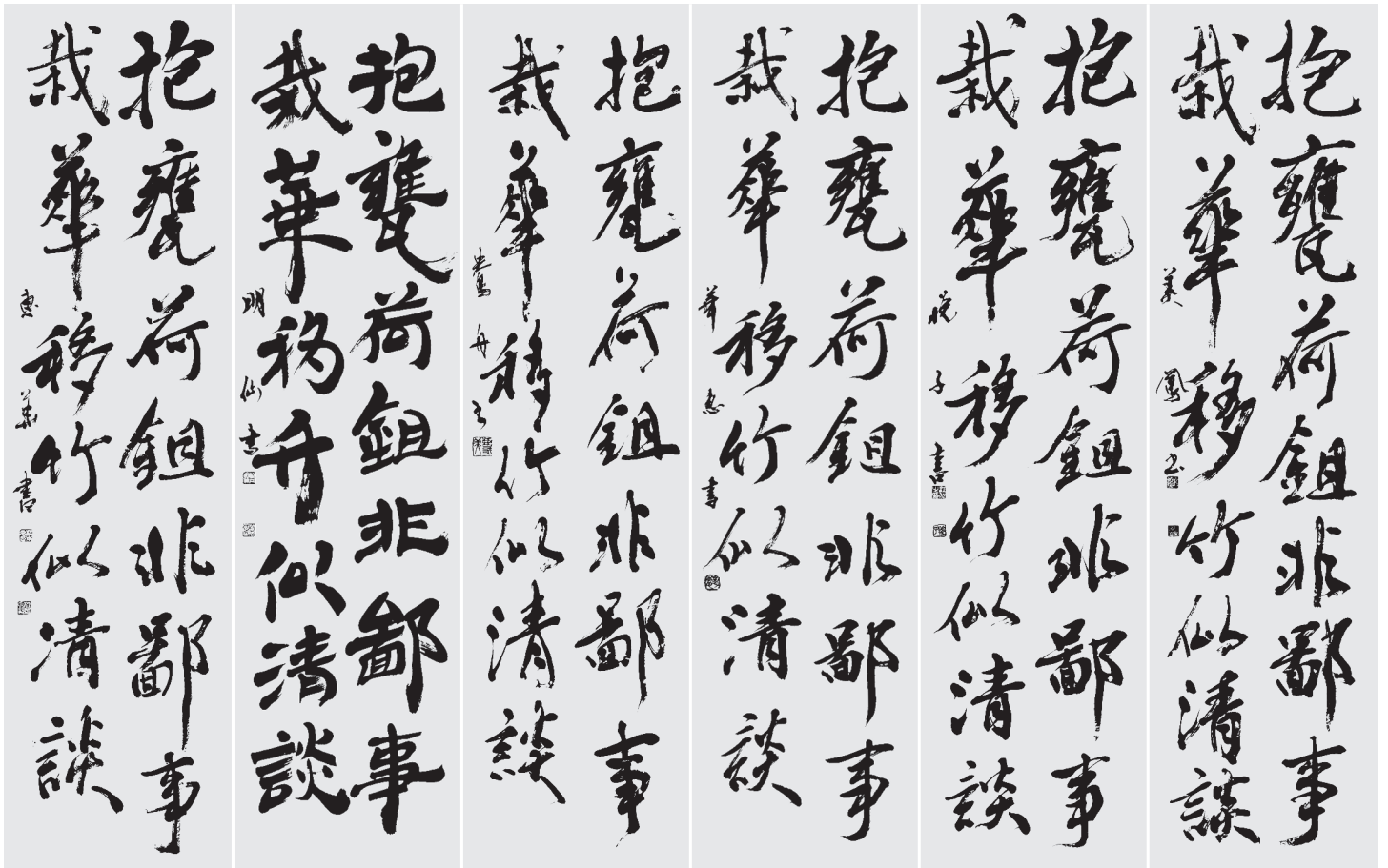




師範
松本恵華

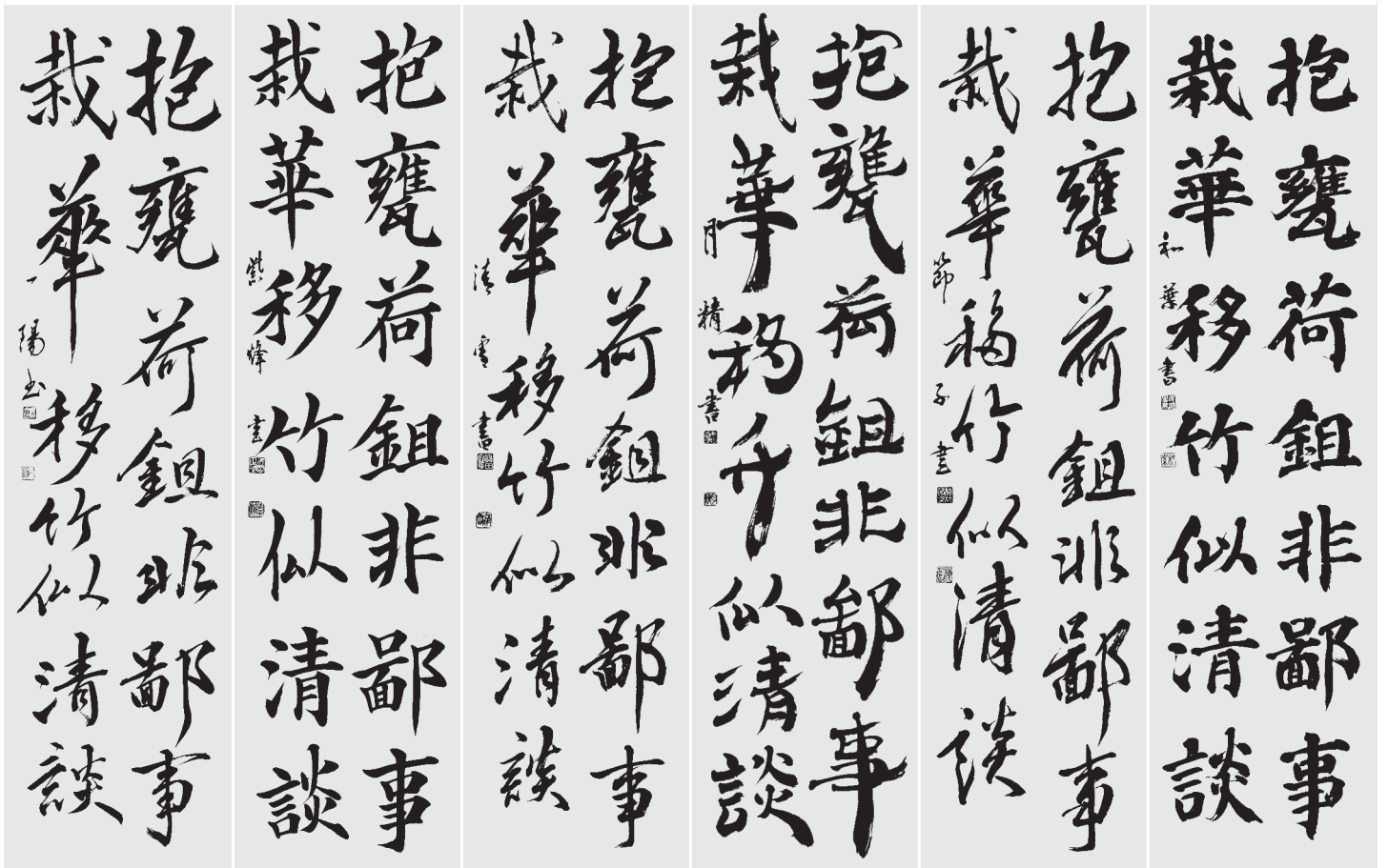
師範正
藤井明仙

師範正
溜 鴛舟

成家
下田華恵

成家
江川悦子

成家
木下美鳳



1 級
加藤一陽

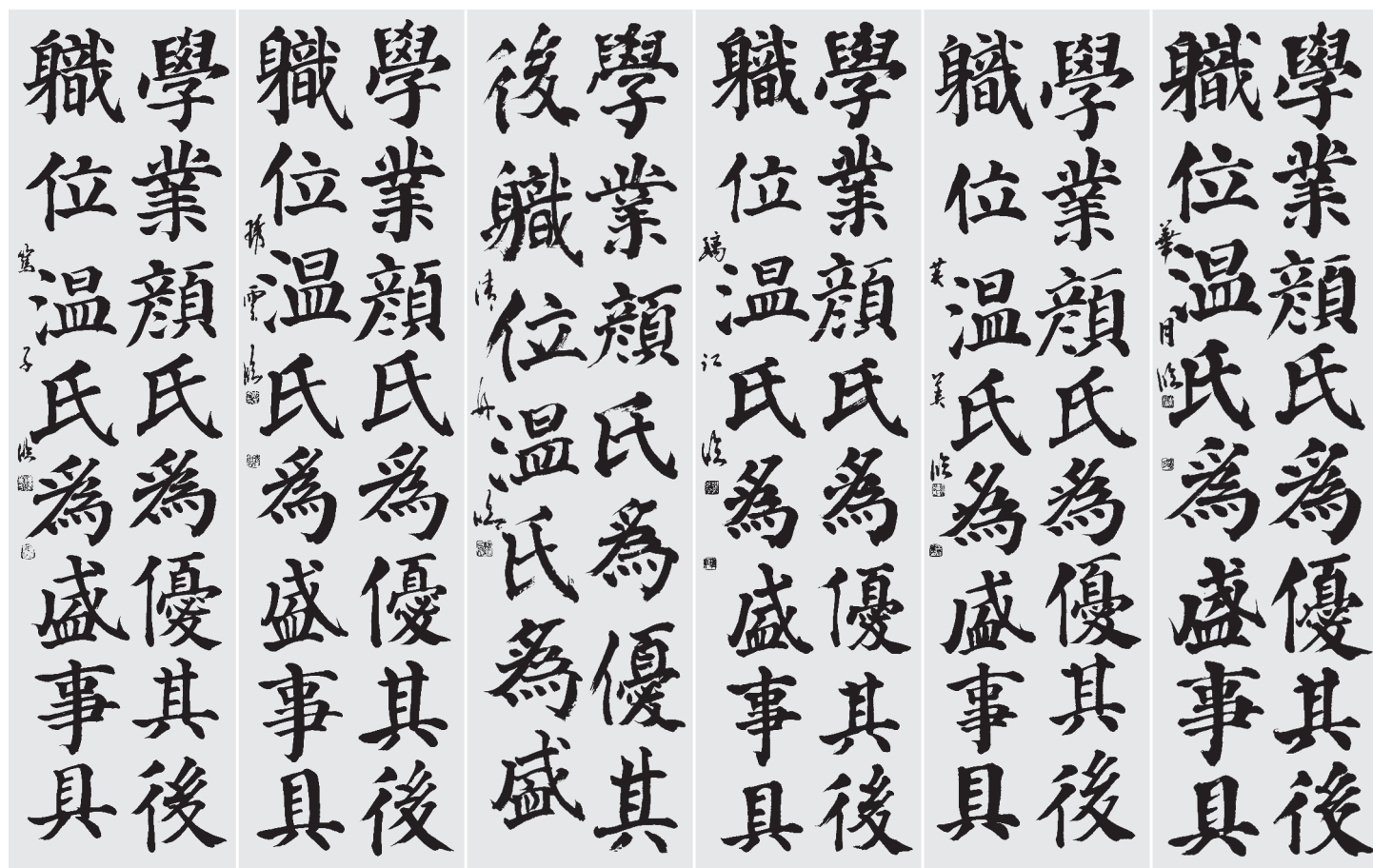
準三段
力岡紫烽

五 段
原田清雪

準師範
永田月精

師範
梅谷節子

師範
尾崎和葉



師範
榎橋篤子

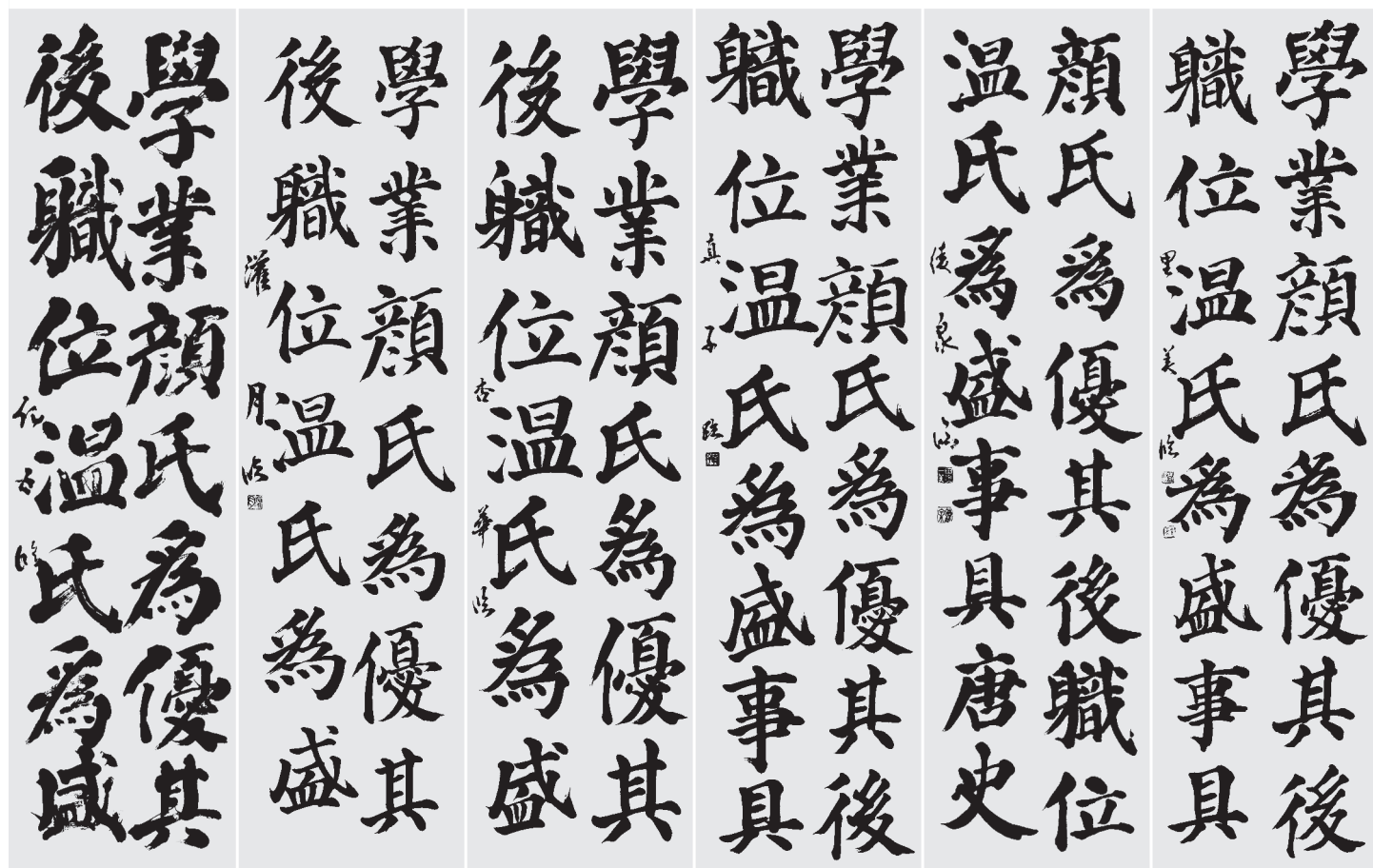
師範
藤永琇雲

師範正
小野清舟

師範正
堤璃江

師範正
角大鳥居芙美

成家
松原華月



準8級
藤木紀子

三段
山崎勝也

四段
中根杏華

五段
松下真子

六段
田原綾泉

師範
松永里美

紺碧の濤

紺碧の濤が
白布を岩に
晒してゐた
千鳥が群れ翔んだ
直恵の詩 峰雪書

成家 峰雪

懸けた情けは水に流せ
受けた思は石に刻め

末美書

成家 榎井末美

紺碧の濤が白布を
晒してゐた千鳥が群れ翔んだ

直恵の詩 清泉書

師範正 中野清泉

千鳥が群れ翔んだ

紺碧の濤が
白布を岩に
晒してゐた
直恵の詩 佳将書

師範正 小村佳将

紺碧の濤が白布を岩に
晒してゐた千鳥が群れ翔んだ

直恵の詩 由香里書

師範正 岡由香里

紺碧の濤が白布を岩に
晒してゐた千鳥が群れ翔んだ

直恵の詩 由美子書

師範 福沢由美子

紺碧の濤が白布を岩に
晒してゐた千鳥が群れ翔んだ

直恵の詩

秀華書

師範 大西秀華

紺碧の濤が白布を岩に
晒してゐた千鳥が群れ翔んだ

直恵の詩 禮子書

準師範 田中禮子

紺碧の濤が白布を岩に
晒してゐた千鳥が群れ翔んだ

直恵の詩 扶美恵書

準五段 永野扶美恵

紺碧の濤が白布を岩に
晒してゐた千鳥が群れ翔んだ

直恵の詩

五段 後藤茜霞

紺碧の濤が白布を岩に
晒してゐた千鳥が群れ翔んだ

直恵の詩 礼子書

準三段 勝谷礼子

紺碧の濤が白布を岩に
晒してゐた千鳥が群れ翔んだ

直恵の詩 春月書

準2級 浦志春月



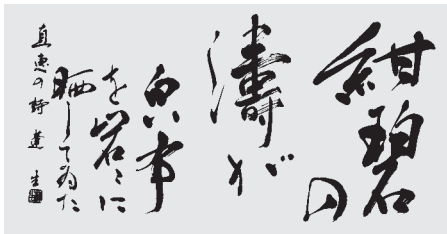
師範松山京華



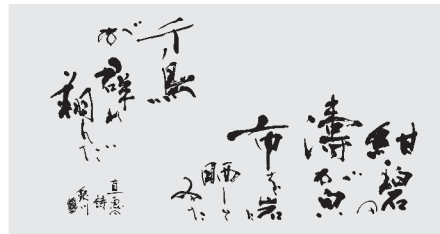
師範正久保博恵



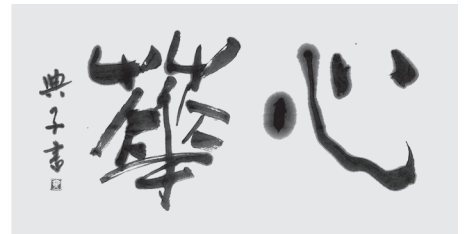
成家深町鳳月



四段久藤蓬生



準五段佐藤銀川



師範服部典子



小4.5級
山田三咲



小4.2級
香月咲南



小3.1級
高橋まお



小3.3級
甲斐田一樹



小2.準3級
内田珠々菜



小2.準5級
宮崎めい



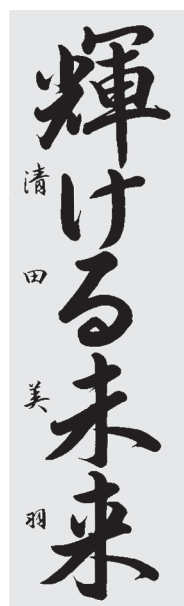
幼.8級
さかいこはる



中1.六段
高橋実瞳



中1.準六段
入江春菜



中3.特待生
清田美羽



小6.準六段
山本美衣奈



小6.六段
石井佑奈

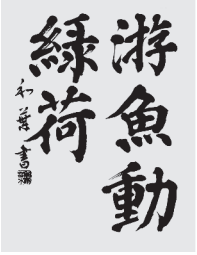
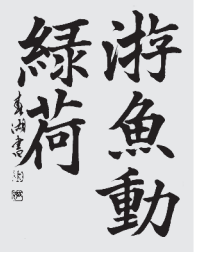
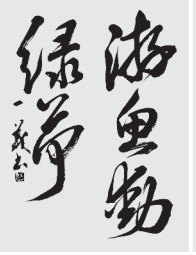
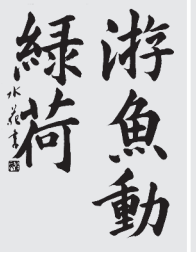
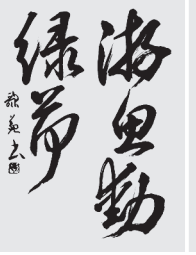
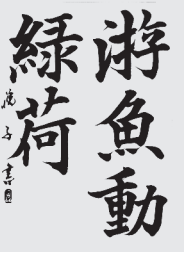
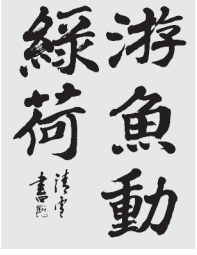
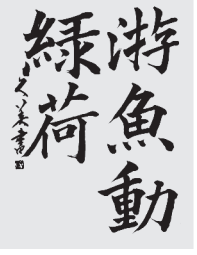
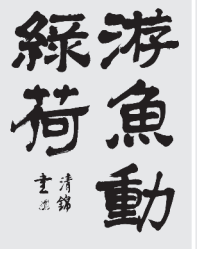
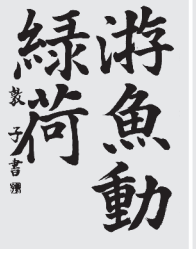
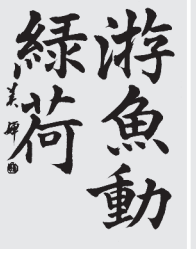
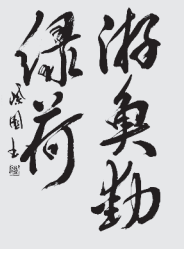
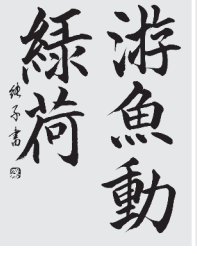
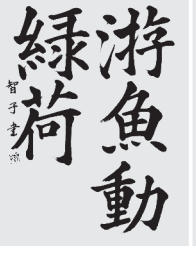
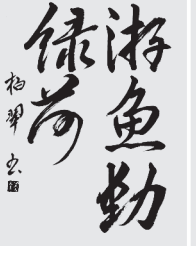
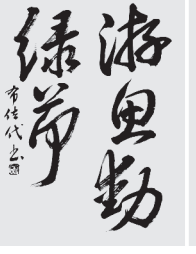
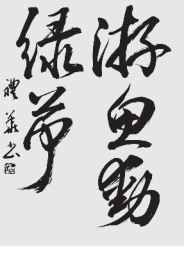
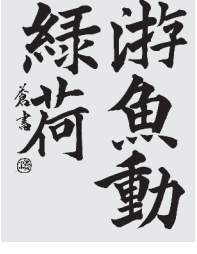
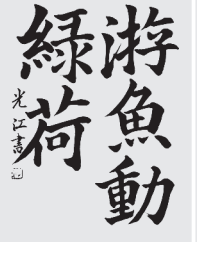
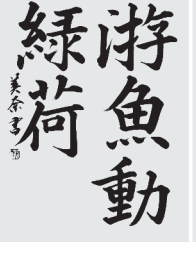
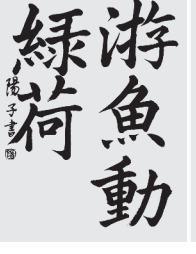
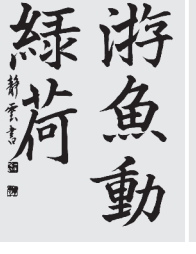
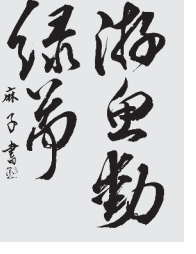
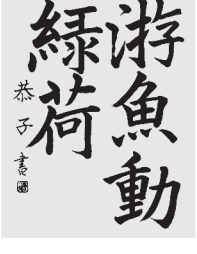
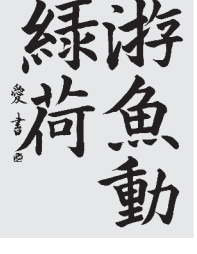
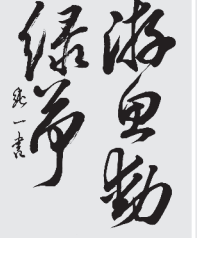
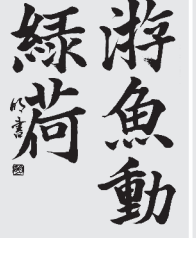
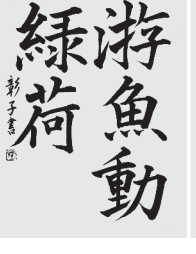
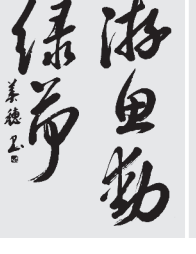
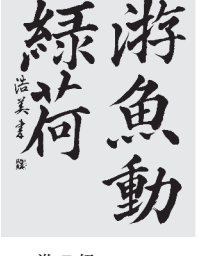
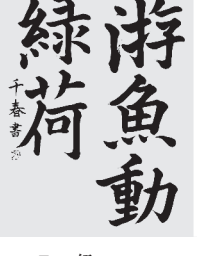
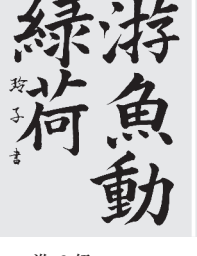
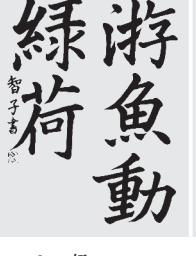
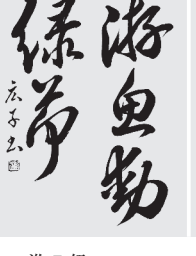
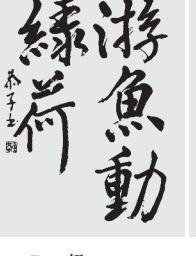
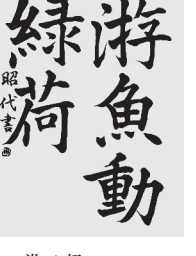


小5.準五段
北島楓花



小5.六段
中山琴音

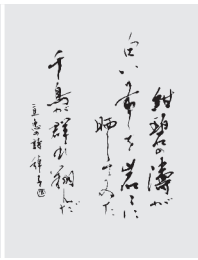
半紙規定優秀作品 (7月末日締切分)

						
師範 尾崎和葉	師範 田嶋春湖	師範正 鳥飼真理	師範正 石田一義	師範正 末森水苑	成家 木原歌苑	成家 江川悦子
						
準六段 原田清雪	六段 田中久美	六段 廣田清錦	準師範 黒田敦子	準師範 集路美嬋	準師範 鈴木鶴聲	師範 瀬戸紫園
						
三段 山崎勝也	準四段 力岡紫峰	四段 原田純子	準五段 小林智子	五段 南柏翠	五段 堤布佐代	準六段 近藤禮華
						
準初段 古川蒼	初段 下村三紀子	準二段 川原光江	二段 高森美奈子	準三段 松本陽子	準三段 有光静雲	準三段 和田麻子
						
4級 岸本恭子	準3級 弓削愛	3級 竹野純一	準2級 松下明	準2級 徳安彰子	準1級 柴田美穂	1級 福山明華
						
準7級 尾形浩美	7級 梶千春	準6級 柳玲子	6級 坂口智子	準5級 菊竹広子	5級 河野恭子	準4級 大貝昭代

半紙随意優秀作品 (7月末日締切分)



師範正
楠森沙登



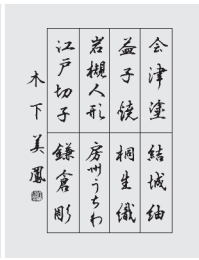
師範正
村内綽子



師範正
内梨櫻舟



師範正
鹿毛純光



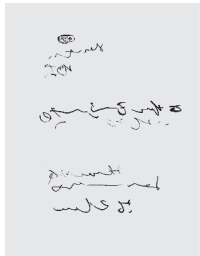
成家
木下美鳳



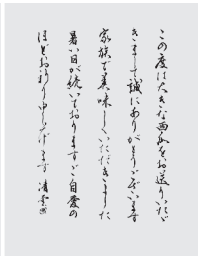
成家
松原華月



成家
茶圓光暉



師範
江上由紀子



師範
野中清雲



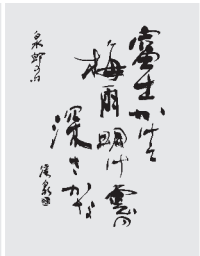
師範
久保象雲



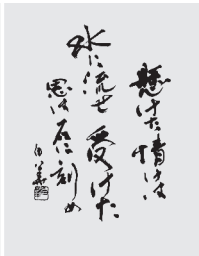
師範
福沢由美子



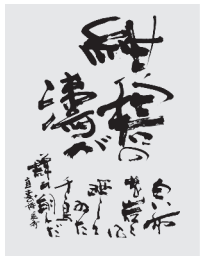
師範
長野芳秀



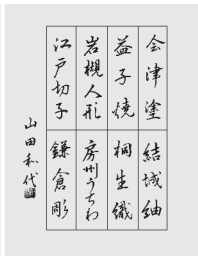
師範正
藤永溪泉



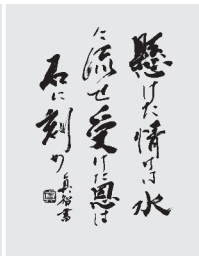
師範正
田尻白華



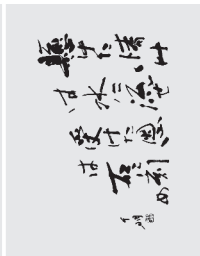
準六段
川野藍秀



六段
山田和代



六段
今仁眞智子



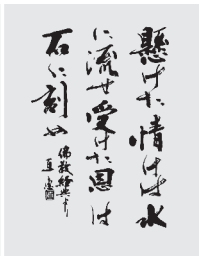
準師範
加来千明



準師範
松山紫苑



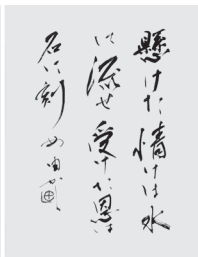
準師範
森小筑



師範
徳永直恵



準三段
高嶋寿子



三段
河野由



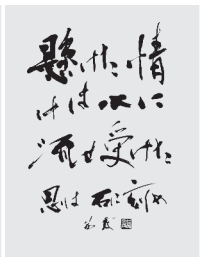
準四段
川鍋敬子



四段
奥村直美



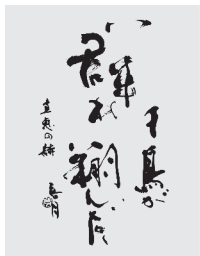
準五段
立野香雲



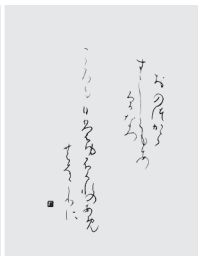
五段
後藤茜霞



準六段
松崎雅子



準2級
浦志春月



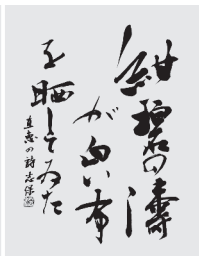
2級
井上喜美代



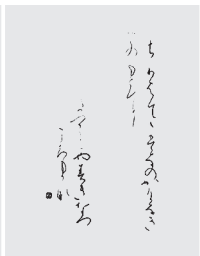
準1級
坂本孝子



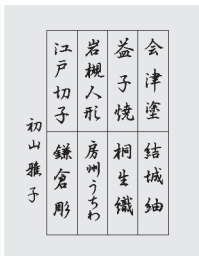
1級
藤川雪華



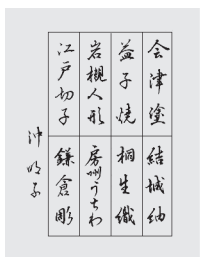
準二段
磯部志保



二段
平川好美



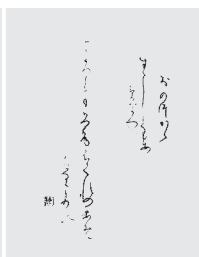
準三段
初山雅子



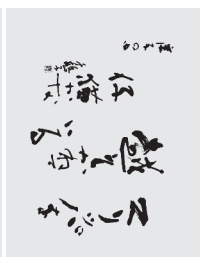
8級
沖明子



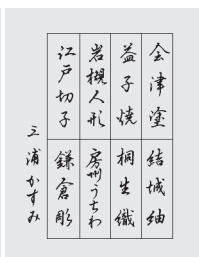
準7級
阿南真由美



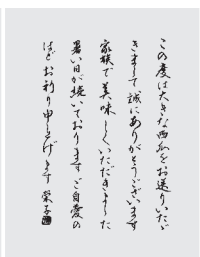
7級
大深剛石



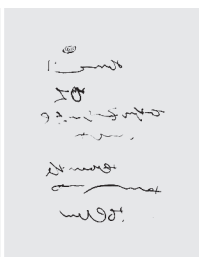
準4級
林千鶴子



4級
三浦かすみ



準3級
梅山栄子



3級
中尾恵子

半紙随意（臨書）優秀作品（7月末日締切分）

師範正 角大鳥居美美	師範正 中野清泉	師範正 榎藤陽子	師範正 長尾久仁子	成家 峰雪	成家 下田華恵	成家 深町鳳月
師範 佐々木秋穂	師範 住本芳水	師範 三原典子	師範 豊嶋祥波	師範 吉田美津子	師範正 岡紅華	師範正 村上嘉子
六段 住田紫苑	六段 田原綾泉	準師範 永田月精	準師範 竹清成翠	師範 松永美貂	師範 重松周子	師範 副島汀泉
三段 濱崎秀代	準四段 石松小夜子	準五段 檜原鳳苑	準五段 佐藤銀川	五段 松下真子	準六段 日野桃玉	準六段 本郷八蘇
1級 緒方悦子	準初段 柴田篤子	初段 大賀昌子	準二段 吉井容子	二段 横手鈴佳	準三段 久々宮憂華	準三段 山口胡舟
8級 永江弘子	準5級 櫻木香奈絵	準3級 前田航平	3級 緒方具美	準2級 高奎直海	2級 野間口季平	準1級 中野廣市

半紙優秀作品 (7月末日締切分)



6 級 山田しの
準5級 有川そうま
5 級 田中翔斗
準3級 内田珠々菜
準7級 山根ゆいか
7 級 平田さち
準6級 藤本なつき



3 級 中村美心
準1級 前田玲奈
初 段 田嶋伊空
五 段 岸川麻央
準7級 藤木しおん
7 級 宝木夢花
準6級 今富おうが



準7級 上地智輝
7 級 在津しゅうや
6 級 小野八雲
6 級 世良果恋
準5級 二ノ宮夕佳
準4級 石川ひさき
4 級 井口慶乃



準四段 矢野来実
四 段 吉原煌
準五段 白濱あおい
五 段 竹原心花
準8級 松本みな子
8 級 明石結宇
準7級 石橋希愛

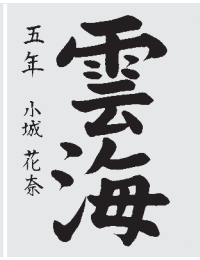
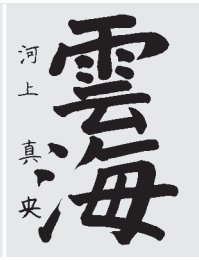
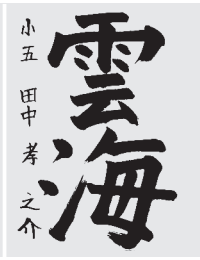
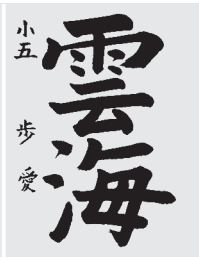
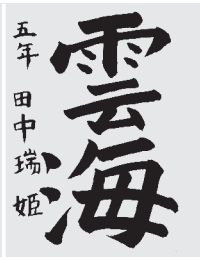
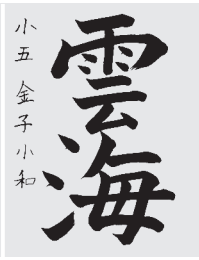
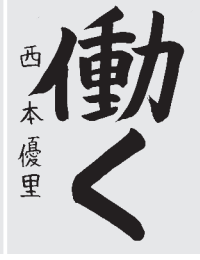
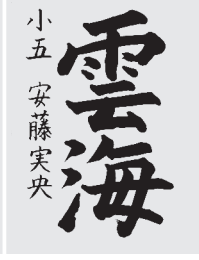
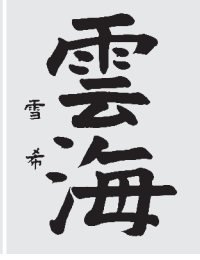
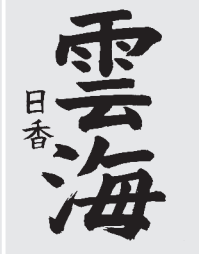
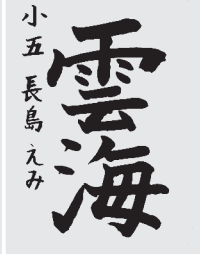
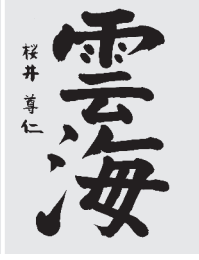
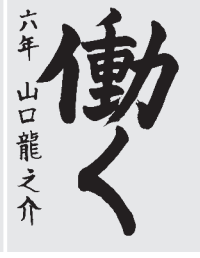
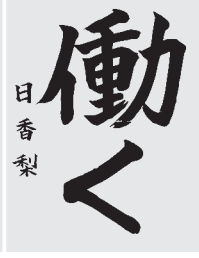
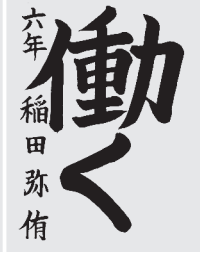
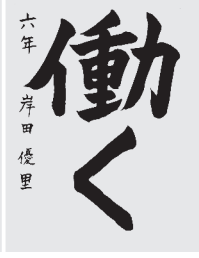
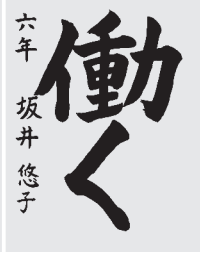
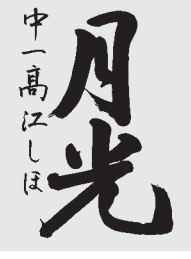
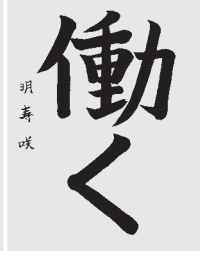
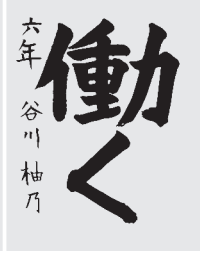
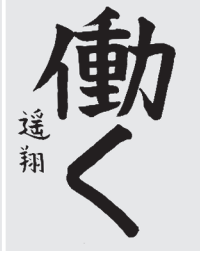
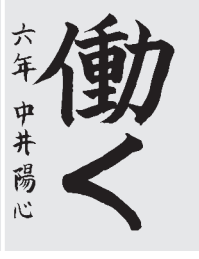
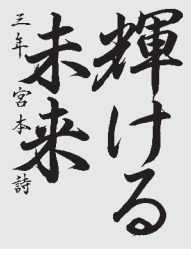
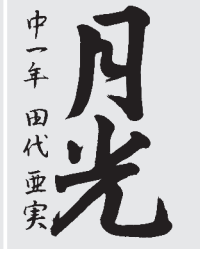
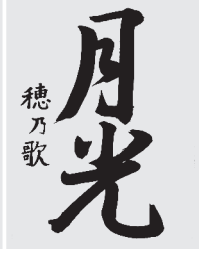
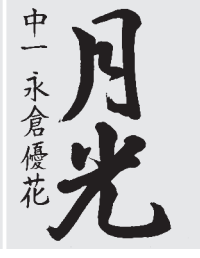
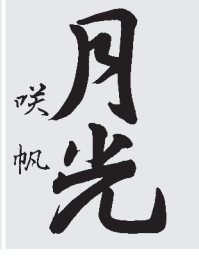
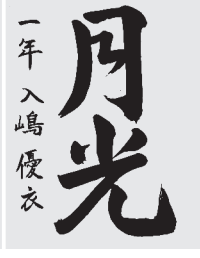
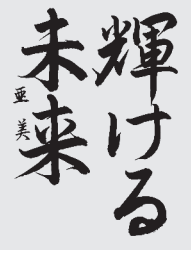
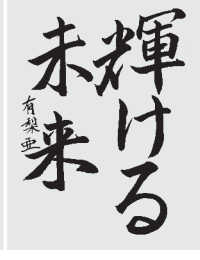
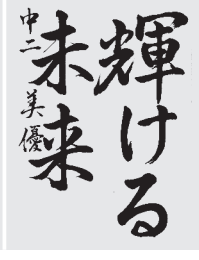
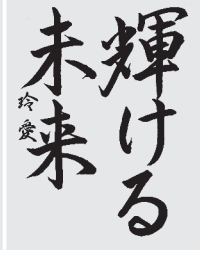
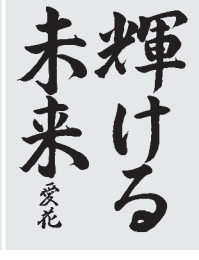
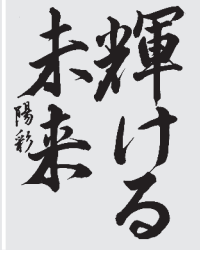
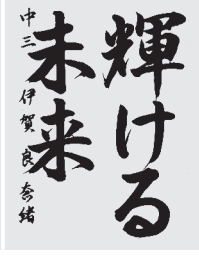


初 段 吉岡美結
初 段 百留伽南
初 段 鳥井希
準二段 濱本心愛
二 段 村崎美南
準三段 田中愛渚
三 段 坂本和



準四段 宮川遥
四 段 向井友梨奈
六 段 中山琴音
6 級 西野望来
準5級 堀瑠奈
準2級 今村優心
2 級 山本萌心

半紙優秀作品 (7月末日締切分)

 泰大知 準初段 泰大知	 五年 小城花奈 初段 小城花奈	 河上 真央 二段 河上真央	 小五 田中孝之介 準三段 田中孝之介	 小五 歩愛 準三段 岩川歩愛	 五年 田中瑞姫 三段 田中瑞姫	 小五 金子小和 準四段 金子小和
 桜雅 準六段 米澤桜雅	 西本 優里 六段 西本優里	 小五 安藤実央 準五級 安藤実央	 雪希 5級 松本雪希	 日香 準3級 佐々木日香	 小五 長島えみ 3級 長島えみ	 桜井 尊仁 準2級 櫻井尊仁
 凛 準三段 小若女 凛	 六年 山口龍之介 三段 山口龍之介	 日香梨 三段 宮崎日香梨	 六年 稲田弥侑 準四段 稲田弥侑	 六年 岸田優里 準五段 岸田優里	 六年 坂井悠子 五段 坂井悠子	 齊藤 和奏 五段 齊藤和奏
 中一 高江しほ 特待生 高江しほ	 明寿咲 6級 松田明寿咲	 みお 準1級 古里美桜	 六年 谷川柚乃 準初段 谷川柚乃	 潤 初段 増田潤	 遥翔 準二段 坂本遥翔	 六年 中井陽心 二段 中井陽心
 三年 宮本詩 特待生 宮本詩	 中一年 田代亜実 二段 田代亜実	 穂乃歌 四段 時田穂乃歌	 中一 永倉優花 準五段 永倉優花	 咲帆 五段 片山咲帆	 一年 入嶋優衣 準六段 入嶋優衣	 凜真 六段 平林凜真
 亜美 準四段 小出亜美	 有梨亜 準六段 瓜生有梨亜	 中二 美優 準六段 高橋美優	 玲愛 六段 谷峰玲愛	 愛花 準特待生 相浦愛花	 陽彩 準特待生 永江陽彩	 伊賀良 奈緒 特待生 伊賀良奈緒

硬筆優秀作品 (7月末日締切分)

*** *** *** 二わかめらな	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ
準2級 小若女 楽 夏	準8級 黒岩まさたか	準8級 秋 月 はやと	8 級 明 石 紗 希	準7級 ひろせちなつ	7 級 関 本 こう太	6 級 宮 里 悠梨愛
*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ
準7級 古 川 颯 真	準6級 田 中 ゆりな	6 級 河 村 悠 衣	準5級 うこん ゆい	準4級 栄 戸 日 咲	4 級 古 賀 にいな	3 級 新 納 真 子
*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ
3 級 前 田 玲 奈	準2級 山 下 月 姫	準1級 白 幡 朱 莉	1 級 種 本 優 菜	準初段 藤 井 夏 希	準8級 徳 本 彩 芭	準7級 大坪けんしょう
*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ
6 級 荒 木 菜々子	5 級 吉 富 たくみ	準4級 河 野 莉 子	準4級 山 村 虎 大 郎	4 級 吉 原 愛 真	4 級 山 地 翔 大	準3級 日 高 心 優
*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ
準四段 坂 本 和	準8級 西 田 紫 花	準8級 今 村 凜	8 級 永 島 俊 樹	7 級 松 本 みな子	7 級 三 好 海 歩	準6級 世 良 果 恋
*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ
初 段 野 村 優 人	初 段 荒 井 青 空	準二段 江 田 桜 子	準二段 高 野 心 寧	二 段 佐 々 木 更	準三段 吉 原 煌	三 段 村 崎 美 南
*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ	*** *** *** くらして うだいたちが かに、小さな魚の 広い 海のどこ

硬筆優秀作品（7月末日締切分）

完成させた新聞をクラス のみんなで読み合い内容 や書き方について感想を つたえ合いました。 *** 中村 ね	完成させた新聞をクラス のみんなで読み合い内容 や書き方について感想を つたえ合いました。 *** 綿井 優香	完成させた新聞をクラス のみんなで読み合い内容 や書き方について感想を つたえ合いました。 *** 真辺 大駕	完成させた新聞をクラス のみんなで読み合い内容 や書き方について感想を つたえ合いました。 *** 大里 栞和	完成させた新聞をクラス のみんなで読み合い内容 や書き方について感想を つたえ合いました。 *** 山崎 奏音	完成させた新聞をクラス のみんなで読み合い内容 や書き方について感想を つたえ合いました。 *** 後藤 愛依	完成させた新聞をクラス のみんなで読み合い内容 や書き方について感想を つたえ合いました。 *** 庄部 瑠華
4 級 中 村 寧	準3級 綿 井 優 香	準2級 真 辺 大 駕	2 級 大 里 栞 和	準1級 山 崎 奏 音	1 級 後 藤 愛 依	準初段 庄 部 瑠 華
千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 安見 千哩	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 吉 泉 翔 琉	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 青 木 美 桜 乃	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 楳 木 友 里 愛	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 木 村 優 里 愛	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 田 中 玲 百 奈	完成させた新聞をクラス のみんなで読み合い内容 や書き方について感想を つたえ合いました。 *** 原 口 凜
準二級 安 見 千 哩	二 級 吉 泉 翔 琉	三 級 青 木 美 桜 乃	四 級 楳 木 友 里 愛	準五級 木 村 優 里 愛	五 級 田 中 玲 百 奈	準5級 原 口 凜
千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 日 永 田 唯 衣	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 児 島 瑞 咲	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 有 附 昇 奏	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 松 尾 柚 季	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 石 井 瑛 都	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 湯 川 愛 音	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 鶴 崎 栞 奈
3 級 日 永 田 唯 衣	準2級 児 島 瑞 咲	2 級 有 附 昇 奏	準1級 松 尾 柚 季	1 級 石 井 瑛 都	準初段 湯 川 愛 音	初 段 鶴 崎 栞 奈
こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 宮 林 愛 樹	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 木 村 瑛 菜	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 春 山 結 美	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 円 田 海 翔	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 西 留 優 月	千年先のわたしたちの周り はどうなっているだろう。あの ビルあのマンションそして、 わたしたちの住んでいる家々、 きつ、かげも形もないだろう。 *** 内 田 咲 良	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 小 園 ゆ め
準五級 宮 林 愛 樹	五 級 木 村 瑛 菜	準六級 春 山 結 美	六 級 円 田 海 翔	6級 西 留 優 月	4 級 内 田 咲 良	準3級 小 園 ゆ め
こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 田 村 美 倅	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 山 田 彩 水	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 上 村 彩 夏	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 稲 田 弥 侑	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 阿 部 み な み	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 西 村 咲 希	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 土 井 晴 佳
初 段 田 村 美 倅	二 級 山 田 彩 水	三 級 上 村 彩 夏	準四級 稲 田 弥 侑	四 級 阿 部 み な み	四 級 西 村 咲 希	準五級 土 井 晴 佳
深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニズガビという浅い西 湖へ命をなげかけたのだらう。 生物にはそれだけ子孫を残してい くために必要な環境がある。 *** 多 田 紗 雪	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニズガビという浅い西 湖へ命をなげかけたのだらう。 生物にはそれだけ子孫を残してい くために必要な環境がある。 *** 難 波 来 未	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 櫻 木 未 憂	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 竹 内 詩 朗	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 安 藤 由 芽	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 白 石 景 子	こよみのうえでは立夏から立 秋の前日までを「夏」といいます。 夏から秋へと向かっていくこの ころの季節の様子はどんな言 葉で表されているでしょう。 *** 森 崎 悠 介
準特待生 多 田 紗 雪	特待生 難 波 来 未	5 級 櫻 木 未 憂	4 級 竹 内 詩 朗	2 級 安 藤 由 芽	準1級 白 石 景 子	1 級 森 崎 悠 介

硬筆優秀作品（7月末日締切分）

深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 伊藤沙菜	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 海老谷 湊	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 柴田 心那	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 井脇 遙風	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 前田 乃亜	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 下 釜 千 宙	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 徳丸 仁 菜
準五段 伊 藤 沙 菜	五 段 海老谷 湊	準六段 柴 田 心 那	準六段 井 脇 遙 風	六 段 前 田 乃 亜	六 段 下 釜 千 宙	六 段 徳 丸 仁 菜
深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 後藤千晴	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 太田 リカ	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 島 涼 夏	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 河野 かの	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 西川 夕輝	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 水田 柔良	深い田沢湖の環境に合わせて生き ていたクニマスがどうして浅い西 湖で命をつないでいたのだろう。 生物にはそれぞれ子孫を残してい くために必要な環境がある。 ■■■■ 今林穂乃花
準4級 後 藤 千 晴	2 級 太 田 リ カ	1 級 島 涼 夏	準三段 河 野 かの	三 段 西 川 夕 輝	準四段 水 田 柔 良	四 段 今 林 穂 乃 花
夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 紺田ひとみ	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 石井小百合	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 石川 翔 華	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 榎 藤 陽 子	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 大 島 溪 月	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 白 石 巳 砂 子	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 植 井 末 美
準師範 紺 田 ひ と み	師 範 石 井 小 百 合	師 範 石 川 翔 華	師 範 榎 藤 陽 子	師範正 大 島 溪 月	師範正 白 石 巳 砂 子	師範正 植 井 末 美
夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 副島キクヨ	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 佐 藤 茜	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 原 田 清 雪	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 榎 上 茂 子	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 榎 上 茂 子	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 辻 裕 翠	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 諸 山 球 子
四 段 副 島 キクヨ	準五段 佐 藤 茜	五 段 後 藤 茜 霞	準六段 原 田 清 雪	六 段 榎 上 茂 子	六 段 辻 裕 翠	準師範 諸 山 球 子
夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 田 中 佑 季	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 川 村 茉 奈 美	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 林 碧 水	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 井 上 伊 津 美	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 長 尾 久 仁 子	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 和 久 田 夏 江	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 和 久 田 夏 江
準初段 田 中 佑 季	初 段 川 村 茉 奈 美	準二段 松 下 真 子	二 段 林 碧 水	準三段 井 上 伊 津 美	三 段 長 尾 久 仁 子	準四段 和 久 田 夏 江
夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 磯 部 志 保	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 坂 口 智 子	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 佐 野 真 紀	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 徳 安 彰 子	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 白 濱 か ず み	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 首 藤 海	夏の夜空は他の季節に比べて星座 が華やいたとは言えないが何故だか 目を凝らす涼風に吹かれて天空の無 辺に身の卑小を思い世の無常を知 るのが消暑法になるのかも知れない。 ■■■■ 力 久 真 子
準6級 磯 部 志 保	6 級 坂 口 智 子	5 級 佐 野 真 紀	4 級 徳 安 彰 子	準3級 白 濱 か ず み	3 級 首 藤 海	1 級 力 久 真 子